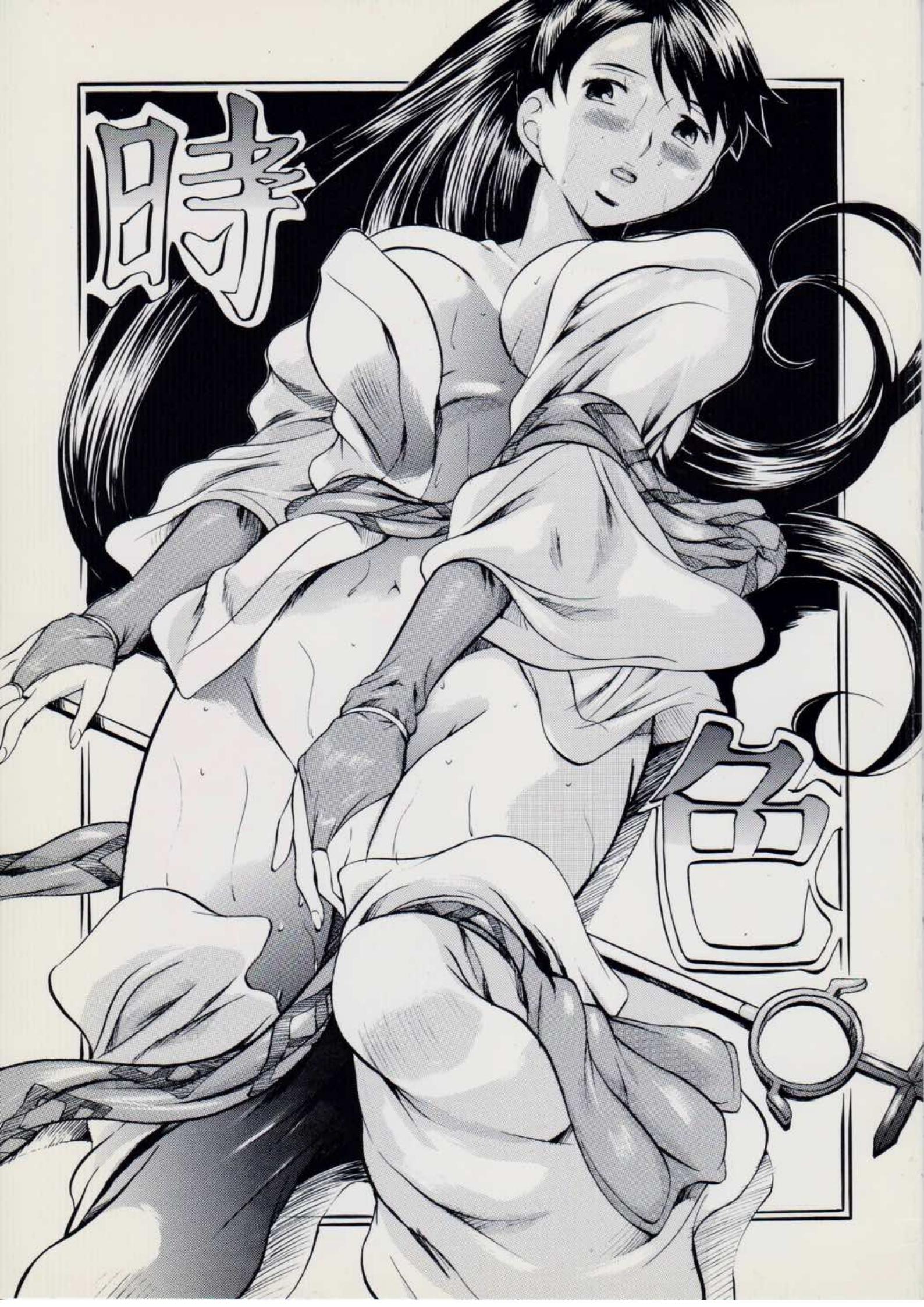


時



夜の鳥森じ
妹退治をする二つの
前に人皮を被った
複数の妹が侵入。

怨気を聚め、かに妹達に
良子と時音が苦戦。
ハツケ二人は分断して戦う
ことを余儀なくされ方







ほう…結界には
そんな使い方をある
のか…



氣付かなかったが
…君の結果から
逃げ回るアリをしん

余を張り
めぐらせたい
ここに…

! ?

な何これ

うんおぐ
オレの次は一度エモーに
からかわいたら

どんな怪力でも
絶対にやれ方こつけ
なー… あーこれは
終わりだよ

嬢ちゃん



こんなことして

何のつもり…?

やつて力ねー…
鳥森って考の隠れフクニ

けこうがんだよ

なれなれ、ハニ光景
だねえ、でう、動けな、
気分け

たた消しちまうのを
面白くなーから…
その前に

たゞぱりと
可愛がってもらひな…
精神界節の娘ちやん



こっちも
美味しいだなア

ああ、メツ
ああ、この二つ
あなたが欲めんな

いいも、お尻を
いいも、はや、たまんない
よ、時音ちゃん

もう一いちど
ジーピンだよ

ああ待て

は…ダメだよ
モ…ヤクシ出でな…
時音ちゃんの胸内に入れちゃ
よ…や…

ああやんたな

三八爺じゃな…
たぐひの

はああーーーあ

か奥まで来るう

あひい

ほん

ほん

いいや





表紙案 ①

「抱きまくら」の時音ちゃんバージョン
のアートで…でも、あまり色気の方に
振り過ぎると時音ちゃんどうく
ないと…やっぱりホニーテールは
ちゃんと見せないとバット見で
「時音ちゃん」って分かづか
べすわエ……



表紙案②

「和モノ+退魔+妖」で
言えば「触手妖怪」
中身のHシーンで触手を
使っていいないのでヤメました。
でもやっぱり和風なキャラと
触手ってあうがア…なんて



いや…いつも中途半端な形でスミマセン…。実は今回のマンガ、描き始めたのは黒毛桜が現れた直後くらいだったのですが、ハラハラあって遅れに遅れてしましました。人皮、と言うのがなかなか使えるアイテムだと思つたのですが…結構妹のうでいくことになりましたね…ま、人の形にこだわらない方がいろんな畫めが可能ですね。時音ちゃん、決してキャラ映えする方ではない。アニア向けな萌え系でもないのですが、とにかく見たいと、そのカッコよさに魅かれました。

まだ女子高生でありながら妖怪と対等に戦う力。良守を追って敵の中に飛び込む行動力。少女と言うよりはもう立派な戦士。精神面だけはいいぶつ大人のそれへ近い。やはり戦うこと自体も悩んだりぐるぐるしたりする様子が丁度Xですね。

そう言えばこの時、時音ちゃんじかにうれ、エルザのナディにすろかと迷った覚えがあるのですが、ナディを見て“なんか違う”とすぐに描くのをやめたのは記憶にはっきりとあります。やはりマドラックスのような“彼女のエージェント”としての“カッコ良さ”がなかつたからではないかと…。一方で言えば“カッコ良さ”でどこか浮世っぽさですね。あまり生活感やドジっぽい等身大さを感じさせないと言いましょうか…アリキュアちゃん言えば“カレンは〇でのぞみけXと言えば分かり易いから”…このテの同人を描く上では“氣の強さ”も大事。気が強ければ強いほど責めがいがありますねえ。やはり…

話は変わりますがやはり囚われの身、レシキュエーションが好きですね。やはり…その場で押さえつけられ犯されるより、相手の根城に連行されし“囚われの身”な、へ…、と言うのがいいのです。碟にされたりされればもう言うことないですね：向ふと言われてもよく分かりませんが…敵(相手)の前に指さされたり晒された状態で捕まっていると言う屈辱感がたまらないのでしょうか…。

今でも聞くアニメの中のメンバーが敵に捕またりすると、そう言う期待(ちよんじすよね…これかう捲問にあたりとか…ま、地上波のアニメでこんな展開があるはずないんじすけどね…同人でもその中のものとして描いてるう少ない…)

商業誌でも向ふんくら…じょりんぐさんもお上の命令なのが最近描かれていな…また私自身、同人描いても少數派”だなー、と実感します。(コトナさん本だけボクだけだもんな…普通にルージュがくませへば、ついで何が樂しいのか思ひません…)

強…ヒロインが敵の手に落ちて“捲問”と言う名の調教を受けるて…聞いただけでも興奮する人ですけどねえ…一度、他サークルさんとや、いろいろどうか

“長期的”なものをやってみたいですが、消費サイクルの激しい今のアニメ業界では難い…(うわ…)

結界師…いろいろな事があたけで、ついに終わってしまいました…。梓移動についてはいろんな憶測が飛び交っていますが、そもそもゴーレン・梓では1年間の放送と最初から決められていたことなので、もう少し深く心を黒毛楼編を最後までやしてくれたことに感謝すべきでしょう。とはえ数字的に苦戦していたのは事実なわけで…これほど良質なアニメさえ観られないと言う現実に憂えるけれど…日本のアニメ界、この先どうなるのだろう。このまではコナンの梓移動も時間の問題かも…。また、ヤッターマンやるくらいなら、結界師をもう一年続けてもらいたかったのだけれど…主役が同じ役者さん、でどうなのよ…演じてろんが一番複雑だろうけどね…。

と言うわけで時音ちゃん本です。おそらく世界でこれ1冊のみ(と思われる)時音ちゃん本です。ドロシー本に引き続き、セールス無限本 第2弾です。いいのです。“好きだから捕る”…これを同人の本来ある姿です。(とは言えドロシー本のあ、と言う間の瞬殺“完走”には驚き…!こんなにドロシー需要があんなもん便利、とけば良か、たな…)

僕にとっては“萌え系”と言われるものより、こう言うカッコイイ女のこの中にこそ“萌え”なのです。彼女には、小さい頃から戦いの中に身を投じてきた故の強さがある。娘に他校の生徒を人質に取られても眉一つ動かさない冷静さ。恋などニの次と言うクールさにシビレてしまうのです。原作の方の絵柄の部分と言えば“もうなのですが、丸顔に小さ目とハイリの美少女とは離れているのにカッコイイ”と思うのは、時音ちゃんのこう言つたキャラクターによる所が大きいつらう。やはり女戦士たるもの、こうじなくしていかんじよう。だからこそイジソであげたくなると言うのです。(声もまたピッタリ。変にアニメ声じゃないのが◎です。やはりドロシーももうですが声で重要なところが思つる。)

お相手は設定上、やはりと言いまじうか娘です。こう言う“人でない物”でいろいろ遊べて使いながら良いので描いてろとも楽しいですね。ペニスが伸縮自在な所など、“女のことを犯す”を前提にした特徴を持たせたりと、もう完璧なご都合主義ですが…

時音ちゃん^{アダルト}で捕り始めたのですがなかなか似せろこそこも出来ず中途半端な内容になってしまい申し分けありません。ただこのままお蔵入りにするのももったいないのでアリあえず形にした次第です。時音ちゃんでスキたいと言うみなさんの手助けに少しでもなれば…。

時音ちゃん好き、へやけ・ミコスキー、て事になんの外かな…

発行日 2008年 5月2日

発行元 太陽出版 株式会社様

著者 神無月かな (サ-トル武装女神)

武装女神

